



# 下今井諏訪神社 續麻・今井(兼平)神社

## 祝 国の登録有形文化財に指定!

今井地区文化財委員会 委員長 原 勝美  
前号(1月30日号)の下今井諏訪神社の紹介に引き続き、今月号は、續麻・今井(兼平)神社の4件を紹介します。



No.364  
今井公民館  
館報編集委員会  
電話 59-2001  
FAX 59-1004



### 續麻社本殿

續麻神社は近隣5ヶ村の総社といわれる格式を持った神社でした。現在の御本殿は昭和22年兼平神社と合祀の際、堂村の前田地籍から遷座されたものです。安政6年(1859)大工棟梁木曾上田町武居興右衛門義則により造立と棟札にあります。形式は一間社流れ造りで棟に菊の紋章が付けられ、一見簡素な造りですが味わい深い神殿の造りです。



### 兼平社本殿

兼平社の本殿は天保4年(1833)造立とあります。形式は一間社流れ造りの変形です。屋根の正面に唐破風が付けられていて、この構造は神社の本殿の仕様としては非常に珍しく、正面や側面の彫り物も彫りが深く優れたものです。大工棟梁の記名はありませんが、名のある名工の手によると思われます。

## 續麻・今井(兼平)神社

### 神明社本殿

大正4年續麻神社に合祀されるまで、この本殿は下新田に祀られていました。大正4年の合祀の際、續麻神社の境内へ遷座されました。その後昭和22年の續麻神社と兼平神社の合祀の際、現在地に遷座されました。棟札によると造立は安永9年(1780)と古く、今井の現存の神社本殿8社の内、諏訪社の寛延3年(1750)に次ぐ古いものです。



### 續麻・今井(兼平)神社神楽殿

神楽殿は、昭和22年續麻神社と兼平神社合祀の際、前田の續麻神社から移されたものです。柱に打付けられていた棟札には、嘉永6年(1853)「奉建立神楽殿」とあります。現在屋根は瓦葺きですが、移設前の写真には茅葺きの屋根になっています。この地へ移設の際に屋根が葺き替えられたものと思われます。



### あなたの知らない 松本城と世界遺産講座

第1回は2月3日(金)今

井公民館にて、松本城の歴史と世界遺産についてのお話がありました。講師は、松本市文化財課の上條昌明さん(今井在住)と文化振興課の桑島直昭さん。

松本城天守の建築は、文禄2~3年(1593~94)石川数正・康長父子によって造られたと結論づけています。

武士の時代が終わり、主を失った城はなくなる運命にありました。それを食い止めたのは市川量造、小林有也といった先人と、そこに協力した市民たちです。



松本城の歴史と世界遺産について学ぶ



松本城見学

松本城が世界遺産登録を目指す取り組みは、2001年「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会が発足。現在国宝5城(近世城郭)を束にするという方向で取り組んでいます。

第2回は2月22日(水)松本城を3班に分かれて見学しました。外から見ると5重天守ですが、6階建てです。天守の重量は1000トンあるそうです。戦うための黒い堅固な天守と、平和な時代になつて造られた優雅な辰巳附櫓・月見櫓。数々の優れた築城技術を今に伝えています。

「あいサポート運動」とは、①障がいについて知る。②できる範囲でちよつとした手助けを行う。この2点によって障がいの有無にかかわらず誰もが暮らしやすい地域社会(共生社会)を目指して、みなさんと一緒につくっていく運動です。また、あいサポーターとはあいサポート運動を実践する方々です。日常生活で障がいのある方が困つていそうな時にちよつとした手助けをする方のこと、困つていそうな方を見かけたら、まずは声をかけてみましょう。また、外見からはわからなくても援助の必要な方がいます。

### あいサポーター研修 開かれる

〜障がいを知り、共に生きる〜

2月18日(土)今井福祉協議会主催の研修会が27名の参加の下開かれました。

講師は長野県健康福祉部障がい者支援課の水澤幸子さん。信州あいサポート運動の目的、事業内容等を話していただきました。

「あいサポート運動」とは、①障がいについて知る。②できる範囲でちよつとした手助けを行う。この2点によって障がいの有無にかかわらず誰もが暮らしやすい地域社会(共生社会)を目指して、みなさんと一緒につくっていく運動です。また、あいサポーターとはあいサポート運動を実践する方々です。日常生活で障がいのある方が困つていそうな時にちよつとした手助けをする方のこと、困つていそうな方を見かけたら、まずは声をかけてみましょう。また、外見からはわからなくても援助の必要な方がいます。



No.289

### 「住めば都 マレーシア」

長村 正一(野口)

私は2008年から6年間マレーシアに赴任していました。最初の1年半は、家族も帯同し妻と中学生の2人の子供と過ごしました。

高温多湿の気候でしたが、慣れてしまふと、過ごしやすく松本の寒さは何処へ



やら・日本人学校に通う子供たちも2月の水泳大会を不思議な気持ちで楽しんでいました。

マレーシアは、マレー人、中国人、インド人などの多民族国家で、宗教や文化もそれぞれ民族で存在し、当たり前のように日々を過ごしています。地球という大きな世界にはいろいろな民族が居て、それぞれの宗教や文化があつて、お互いを理解し尊重する気持ちがあれば、争いごとのない地球国が出来るのでは。

### 援助が必要な方のためのマーク ヘルプマーク